

作成日：2014年6月04日

改訂日：2021年1月01日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : 0.1mol/L 過塩素酸溶液
パーツNo. : なし (D890499-A スタートキット (TOC用) 付属品)
会社名 : 株式会社HIRANUMA
住 所 : 〒310-0836 茨城県水戸市元吉田町1739
担当部門 : 品質保証部
電話番号 : (0120)47-6411 FAX番号 : (029)240-0381

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

火薬類 : 区分外
引火性液体 : 区分外
自然発火性液体 : 区分外
自己発熱性化学品 : 区分外
酸化性液体 : 区分外

健康に対する有害性

急性毒性 (経口) : 区分外
皮膚腐食性・刺激性 : 区分1A
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 : 区分1

特定標的臓器/全身毒性

: 区分外

絵表示またはシンボル



注意喚起語 : 危険
危険有害性情報 : 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
重篤な眼の損傷

注意書き

安全対策 : 粉じん、ミスト、蒸気などを吸入しない。
適切な保護手袋、保護眼鏡、保護衣、保護面、保護マスクなどを着用する。

	使用後は保護具をよく洗う。
	取扱い後はよく手を洗う。
救急処置	: 吸入した場合：新鮮な空気の場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分が悪いときは、医師の処置を受ける。 飲み込んだ場合：口をすすぐ。無理に吐かせないこと。 眼に入った場合：流水で数分間洗い流す。医師の処置を受ける。 皮膚に付着した場合：汚染された衣類および付着物を取り除く。 皮膚を流水で洗う。直ちに医師の処置を受ける。
保管	: 施錠して保管する。
廃棄	: 内容物や容器は関係法令に基づき適正に処理する。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別

	: 単一製品
化学名または一般名	: 過塩素酸
成分及び含有量	: 過塩素酸の約0.6%水溶液
化学式(化学的性質)	: HClO_4
官報公示整理番号	
化審法	: 1-221
安衛法	: 公表
CAS No.	: 7601-90-3
危険有害成分	: 過塩素酸

4. 応急処置

吸入した場合	: 直ちに新鮮な空気のある場所へ移動し、鼻をかませ、うがいをさせる。気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。
皮膚に付着した場合	: 直ちに付着部を多量の水で十分に洗い流す。
目に入った場合	: 直ちに流水で15分以上洗い流し、眼科医の処置を受ける。
飲み込んだ場合	: 直ちに水または卵白を混ぜた牛乳を飲ませ、医師の処置を受ける。無理に吐かせてはならない。
応急措置をする者の保護	: 救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

5. 火災時の措置

消火剤	: この製品自体は燃焼しない。
使ってはならない消火剤	: 特になし。
特有の消化方法	: 速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器および周囲に散水して冷却する。
消化を行う者の保護	: 消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

：作業の際は、適切な保護具を着用し、漏洩した液が皮膚に付着したり、上記を吸入しないようにする。風上から作業し、風下の人を退避させる。漏洩した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。

環境に対する注意事項：流出した製品が河川などに排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。

回収、中和：漏洩した液はけいそう土などに吸着させて取り除くか、水酸化カルシウム、炭酸ナトリウムなどで中和し、多量の水を用いて洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の装置

取り扱い

技術的対策：皮膚に付いたり、蒸気を吸入しないように適切な保護具を着用する。

保管

適切な保管条件：容器は密栓して冷暗所に保管する。

安全な容器包装材料：ガラス、フッ素樹脂、ポリエチレン

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策：取扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。

管理濃度：設定されていない。

許容濃度（暴露限界値、生物学的暴露指標）

日本産業衛生学会(2009年版)

：設定されていない。

ACGIH(2009年度版)

：設定されていない。

保護具

呼吸器の保護具：防毒マスク（酸性ガス用）または送気マスク

手の保護具：耐酸性手袋

眼の保護具：ゴーグル型保護眼鏡

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态、形状、色など

：無色の液体

臭い

：無臭

pH	: 強酸性
融点	: 約0°C
沸点	: 約100°C
引火点	: 不燃性である。
密度	: 約1g/mL (20°C)
溶解性	
溶媒に対する溶解性	: 水; 自由に混合

10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常条件で安定である。
反応性	: アルカリ性物質と接触すると反応する。
避けるべき条件	: 日光、熱
混触危険物質	: アルカリ性物質
危険有害な分解生成物	: 塩素、塩化水素

11. 有害性情報

急性毒性	: 経口: 区分外 経皮: データ不足のため分類できない。 吸入(蒸気): データ不足のため分類できない。 (60%過塩素酸として) ラット 経口 LD50=1100mg/kg イヌ 経口 LD50=400mg/kg
皮膚腐食性・刺激性	: 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷(区分1A)
眼に対する重篤な損傷・刺激性	: 重篤な眼の損傷(区分1)
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: 呼吸器感作性: データ不足のため分類できない。 皮膚感作性: データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性	: データ不足のため分類できない。
発がん性	: 区分外
生殖毒性	: 区分外
特定標的臓器・全身毒性—単回暴露	: 区分外 蒸気を吸入すると、上気道の刺激、咳、呼吸困難、肺水腫を起こすことがあるとの記載があるが、カットオフ値以下のため区分外とした。
特定標的臓器・全身毒性—反復暴露	: 区分外
吸引性呼吸器有害性	: データ不足のため分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性

魚毒性

：水生毒性(急性)：データ不足のため分類できない。

水生毒性(慢性)：データ不足のため分類できない。

残留性／分解性

：データなし。

土壌中の移動性

：データなし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

：徐々に水酸化カルシウム、炭酸ナトリウムなどのアルカリを加え、中和させた後、多量の水で希釈して処理を行う。または、都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理をする。

容器

：空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国内規制

消防法

：非該当

道路法

：施行令第19条の13（通行制限物質）

船舶安全法

：危規則第3条危険物告示別表第1酸化性物質類

航空法

：施行規則第194条危険物告示別表第1酸化性物質類

国連分類

：クラス8（酸化性物質）等級Ⅱ

国連番号

：1802

輸送の特定の安全対策および条件

：輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

緊急時応急措置指針番号：143

海上規制情報

UN No.

：1802

Proper shipping name

：PERCHLORIC ACID with not more than 50% acid, by mass

Class

：8

Sub risk

：5.1

Packing group

：Ⅱ

Marine pollutant

：Not applicable

航空規制情報

UN No.

：1802

Proper shipping name

：PERCHLORIC ACID with not more than 50% acid, by mass

Class

：8

Sub risk

：5.1

Packing group

：Ⅱ

15. 適用法令

化学物質管理促進法	: 非該当
毒物および劇物取締法	: 非該当
労働安全衛生法	: 非該当
船舶安全法	: 危規則第3条危険物告示別表第1酸化性物質類
航空法	: 施行規則第194条危険物告示別表第1酸化性物質類
港則法	: 施行規則第12条危険物告示酸化性物質

16. その他の情報

参考文献および参照ホームページ等

- 1) NITE 独立行政法人 製品評価技術基盤機構
- 2) 関東化学(株) 過塩素酸 (60%) のMSDS(整理番号: 32059)

- * 本製品安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成されていますが、必ずしもすべての情報を網羅するものではありませんので、取扱いには充分注意してください。また、記載内容は情報提供を目的としたものであり、いかなる保証をなすものではありません。

以上